

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	下呂市	学校名	下呂市立金山小学校			
校長名	可児正充	対象学年	全校	人数	87名	
活動名	ふるさと教育		時間数	30時間	継続年数	約30年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [梁谷山・坊山・愛宕山の登山] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [加藤素毛、岩屋岩陰遺跡] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [金山節の伝承・町文化祭参加] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [地域商店街の教材化・素材化] ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 [地域高齢者との交流・施設訪問] ⑥ その他 []					
複数年継続するための工夫改善	・地域講師を積極的に活用している。 ・総合的学習の年間計画に位置づけ活動時間を確保している。また活動の後には、お礼の手紙を書くことで、講師や団体との継続的なつながりをもたせる。 ・毎年PTAに支援をお願いすることで、ふるさと学習環境を整え活動を継続させる。					
<p>1 ねらい</p> <p>「郷土で学ぶ、郷土を学ぶ、郷土（の人）から学ぶ」教育活動を推進することで、郷土を愛する心と自らの生き方を考える心を育てる。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の自然を楽しみ、郷土の豊かな自然や姿を自分の目で味わうために、学校近くの愛宕山や坊山にPTAの協力のもと登山道を整備した。登山道を実際に歩くことで校区や学校を鳥の眼で見ることができ、郷土を知る活動を行った。（全校） 金山町で最も標高の高い梁谷山に登り、豊かな自然を味わう活動を行った。広葉樹の原生林を歩き植物観察やことで、自然の素晴らしさや自然を守ることの大切さを学んだ。（4年） <p>【文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度から運動会で地域の踊りである金山節を復活した。運動会当日、グラウンドには児童、保護者、そして地域の方の大きな輪が二つでき、みんなが笑顔で金山節を踊る姿が見られた。（全校） 地域文化祭に「お気に入りの一作品」を出展し地域の方に観てもらう場を設けた。自分の作品が出品されていることから見に行く児童も多く、地域の方の作品に触れるいい機会となった。（全校） <p>【絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にある高齢者施設を訪問しお年寄りと交流を深めた。交流後は手紙などの形で交流の継続に取り組んだ。（5年） <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 金山節の指導では地域の高齢者のグループに指導をお願いした。高齢者の方に久しぶりに学校に来ていただき運動会にも参加していただいた。このことは、途絶えていた金山節の復活の機会となった。 クラブ活動（郡上踊り、和太鼓、音楽、絵手紙、グラウンドゴルフ）では、年間を通して地域の方を外部講師として招聘し、複数回指導を受けることにより、児童も職員も地域で活動する方との交流を持つことができた。（4～6年） 地域の行事や休憩所等に児童の作品を展示した。地域住民に児童の活動を知っていただく機会となっている。 高齢者施設での交流から、施設入所の方が運動会を参観にみえるなど金山小の児童の活動を観ていただくことが増えた。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方に指導を受けることで、地域の方に支えられているという感謝の気持ちを持つことができた。また、地域の一員として地域行事に参加し、地域の良さを引き継ごうとする心情が育ってきた。 地域の方と交流することでコミュニケーションの場が広がり、話す機会やきちんと聞く機会が増えた。また活動の良さを地域の方に認められることで自己有用感が育ってきた。 						